

子どもの生活実態調査 結果ポイント

No.	調査種別	報告書のページ	カテゴリ	ポイント
1	小5子ども	11	進学希望	「高校まで」進学したいと考えているのは全体の約半数。「大学まで」進学したいと考えているのは全体の4割強。 性別で見ると、女子に比べて男子の大学進学の希望が高い。
2	小5子ども	14・16	朝食の摂取	平日・休日を問わず、朝食を「ひとりで食べる」がともに17.6%を占めている。 また、「朝ごはんは食べない」が5.9%を占めている。
3	小5子ども	18	保護者との会話	父親と”話をする”よりも、母親と”話をする”割合の方が全体的に高い。
4	小5子ども	20	学校生活	「学校に行きたくないと思った」では「よくあった」が5.9%、「時々あった」が19.6%を占める。 「いじめられた」では「よくあった」が2.0%、「時々あった」が11.8%を占めている。
5	中2子ども	11	進学希望	「大学まで」進学したいと考えている子どもは全体の54.7%。 性別で見ると、女子の方が男子よりも大学進学を希望している割合が高い。
6	中2子ども	12・13	進学希望とのギャップ	現実的にとどの学校まで行くことになると思うかでは、「大学まで」が42.2%で、前問（どの学校まで進学したいか）の「大学まで」と比較すると10%強のギャップが発生。 何らかの理由で大学進学を諦めなければならないと考えている子どもがいることが考えられる。なぜそのような考えるかについては、「家庭に経済的な余裕がないから」が1.6%となっている。
7	中2子ども	17・19	朝食の摂取	平日・休日を問わず、朝食を「ひとりで食べる」が20%以上を占めている。
8	中2子ども	21	保護者との会話	父親と”話をする”よりも、母親と”話をする”割合の方が全体的に高い。「将来や進路のこと」について、母親と”話をしない”割合は他の項目よりも高く、3割弱を占めている。
9	中2子ども	23	学校生活	「学校に行きたくないと思った」では「よくあった」が17.2%、「時々あった」が25.0%を占めている。 「いじめられた」では「よくあった」が3.1%、「時々あった」が12.5%を占めている。 ともに小5子ども対象の調査よりも高い値が示されている。
10	小1保護者	3・7	保護者の就労状況	母親では「働いている」が8割強、父親では「働いている」が9割強を占める。
11	小1保護者	4・8	保護者の職業	母親の職業は「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が半数以上を占めるのに対し、父親では「民間企業の正社員」が半数以上を占める。
12	小1保護者	24	子どもが放課後主に過ごす場所	「自宅」、「学童保育」がほとんどを占める。 世帯構成では「二世帯世帯」では「学童保育」が「自宅」を上回るのに対し、「三世帯世帯」では「自宅」が6割を超えている。
13	小1保護者	42	子どもの習い事	世帯収入が大きくなるにつれて、「していない」の割合が低くなる傾向がうかがえる。
14	小1保護者	45・46	負担が大きいと感じている教育費	「学校外の教育費」・「学用品費」の割合が高い。
15	小1保護者	47	子どもに受けさせたい教育段階	「大学・大学院」での教育を「経済的に受けさせられない」と回答した割合は、2割を超える。
16	小1保護者	56	悩みを相談したり頼れる人	「悩みを相談したり頼ったりできる友人・知人」が「あまりいない」と回答した割合は15.0%となっている。
17	小1保護者	75・76	経済的な理由で必要とするものが買えないこと	「食料が買えなかった経験」が”あった”のは13.4%、「衣料が買えなかった経験」が”あった”のは20.0%。
18	小1保護者	83	子どものための公的制度	「児童手当」は「利用している、利用したことがある」がほとんどとなっているが、その他の制度については、利用したことがない、知らないという回答が多い。
19	小1保護者	101・102	子どもへの支援	「子ども食堂」については、「利用したくない」、「必要だと思わない」が半数以上を占める。 「子どものための無料の学習塾」、「子どものための無料の体験活動」については、「利用したい」が9割前後を占めている。
20	小5・中2保護者	3・7	保護者の就労状況	母親では「働いている」が9割弱、父親では「働いている」が9割強を占める。

子どもの生活実態調査 結果ポイント

No.	調査種別	報告書のページ	カテゴリ	ポイント
21	小5・中2保護者	4・8	保護者の職業	母親の職業は「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が7割弱を占めるのに対し、父親では「民間企業の正社員」が6割強を占める。
22	小5・中2保護者	11	子どもが放課後主に過ごす場所	「自宅」が8割強を占める。母子・父子世帯では「学童保育施設」が1割弱を占める。
23	小5・中2保護者	38	子どもの習い事	母子・父子世帯では「している」が45.5%であるのに対し、それ以外では76.2%となっている。
24	小5・中2保護者	41	負担が大きいと感じている教育費	「学校外の教育費」の割合が高い。ただし、「負担が大きいと感じているものはない」は37.5%。
25	小5・中2保護者	43	子どもに受けさせたい教育段階	「大学・大学院」での教育を「経済的に受けさせられない」と回答した割合は13.4%。
26	小5・中2保護者	76	回答者が15歳頃の家庭の暮らし向き	世帯収入が低くなるほど、「大変苦しい」、「やや苦しい」の割合が高くなる傾向がうかがえる。
27	小5・中2保護者	79・80	経済的な理由で必要とするものが買えないこと	「食料が買えなかった経験」では"あった"が17.0%、「衣料が買えなかった経験」では"あった"が18.8%となっている。
28	小5・中2保護者	114~116	子どもへの支援	「子ども食堂」については、「利用したくない」と「必要だと思わない」が6割強を占める。「子どものための無料の学習塾」、「子どものための無料の体験活動」については、「利用したい」がともに8割弱を占める。